



「熊本県立美術館サポートボランティア」は、 こんな活動をしています！

図書ボランティア



図書資料
の配架

資料ボランティア



新聞資料
の整理

ポスターボランティア



ポスターの
整理、
貼替作業

教育普及ボランティア



イベントの
サポート

全体活動



ボランティア全体で、
年度初めの研修や
クリーン活動を行って
います。

熊本県立美術館美術館サポートボランティアは、上記4つのグループにわかれて月2回程度活動しています。通常は毎年2月ごろに当館ホームページで募集しておりますので、ご興味のある方はぜひ当館ホームページをお見逃しなく！

皆さまのご参加をお待ちしております！（対象年齢：18歳以上）



←当館HP

この記事に関する問合せ先：熊本県立美術館 096-352-2111

「児童生徒を学びの主体」へ

先生たちも探究的に学んでいます！



本県では、児童生徒を学びの主体とする取組を推進しています。「児童生徒の学びと教師の学びは相似形」と言われており、「教師の主体性を大切にした学び(研修)」の推進が児童生徒の主体的な学びにつながると考えています。

そこで、今年度から3年間、「**新たな学びの実現に向けた探究型管理職マネジメント研修**」に取り組んでいます。

この研修では、「児童生徒も教員も主体的に学び続けながら伸びていく学校の体制の確立」を目指し、「校長の総合的なマネジメント力の強化」、「教員の主体的な学びの場の充実」、「児童生徒を主体とした取組の充実」について、研修と実践を繰り返しながら取り組んでいきます。今回、その研修の一部を紹介します。

市町村	学校名
南関町	南関町立南関第二小学校
山鹿市	山鹿市立鹿北中学校
合志市	合志市立西合志南小学校
西原村	西原村立西原中学校
御船町	御船町立木倉小学校
甲佐町	甲佐町立龍野小学校
八代市	八代市立松高小学校
氷川町	氷川町立宮原小学校
あさぎり町	あさぎり町立岡原小学校

参集研修には、校長先生と中堅の先生がペアで参加し、研修で得た気づきを踏まえ、校内実践に取り組んでいきます。

研修内容として、学校の課題やその解決について、熊本大学や民間企業と連携し、講話や参加者同士の意見交流などを行い、そこで得た気づきを校内実践に生かすようにしています。



参集研修の様子①

校長先生と中堅の先生が、学校のカリキュラムについて意見交流を行っています。



参集研修の様子②

民間企業の方の講話を基に、学校の研修の活性化に向け、アイデアを出し合っています。



校内実践の様子

学校、熊本大学及び県・市町村教育委員会で校内研修の在り方について意見交流を行っています。

【参加した先生方の感想】

○今回の研修を生かして、ファシリテーションスキルを子供の主体性を引き出す方法として、授業づくり等に生かしたい。

○校長として、マネジメント力の重要性を再確認できた。児童生徒も教師も「主体性」をキーワードとし、今後も探究的に学んでいきたい。

たいそうぎ
体操着にジャージ
ランドセルや通学用カバン
上履き...
いろいろなお金がかかるなあ

きゅうしょくひ
給食費だけでなく、
しゅうがくりょうこう
修学旅行
や校外活動費もかかるのね！
どうしよう...



このような悩みはありませんか？



しゅう がく えん じょ せい ど 就学援助制度

しょうちゅうがくせい こども かてい
小中学生の子供がいるご家庭に

がくようひんひ えんぴつ
学用品費（ノートや鉛筆など）



きゅうしょくひ
給食費

しゅうがくりょうこうひ
修学旅行費



とう し えん せい ど
等を支援する制度です！

ひもく しんせいじき
費目や申請時期など

かくしちょうそん
各市町村によって

こと
異なりますので、

くわ
詳しくは

すま しちょうそん がっこう
お住いの市町村/学校に

といあわ
お問合せください！



もんぶかがくしゅう
文部科学省webサイトにて
しちょうそんべつ と あ さきとう
市町村別お問い合わせ先等
けいさい
掲載しております。

かき
下記URL/QRをチェック↓

[https://www.mext.go.jp/a/
menu/shotou/career/05010
502/017.htm](https://www.mext.go.jp/a/menu/shotou/career/05010502/017.htm)



Jersey for my gym clothes,
school bag, indoor shoes
— they all cost money.

Not only the school lunch
fee, there are also the costs
for school excursions and
field trips — they all cost
money, too.



Do you have such worries?



Financial Aid for Educational Expenses system

For families with **children**
in **elementary or junior high school**

A system for providing financial support to help
cover the costs for **school supplies (notebooks,
pencils, etc.)**, **school lunch fees**, **school excursions**,
etc.



The expense items,
application period, etc.
may differ according to
each municipality or town,
so for details, ask at the
municipality or district
where you live.



The MEXT website has the contact
information for each municipality.
Check the URL/QR below.

[https://www.mext.go.jp/a
menu/shotou/career/05010
502/017.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/017.htm)



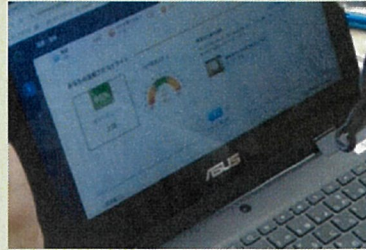
グローバル人材の育成に向けた英語教育の推進

熊本県では、主体的に英語で自分の気持ちや考えを伝える児童生徒の育成に向けて様々な取組を行っています

AIの活用による英語教育強化事業

県内のモデル校(中学校・義務教育学校)で、AIアプリケーションを導入し、授業内外で活用しながら、生徒の英語力向上を図っています。

～個別最適な学びを支援～



～授業で～

教科書の単語や英文の読みの正確さをAIが判定します。個別のフィードバックにより、自己の課題を把握し、その改善に向けて繰り返し練習することができます。

～家庭学習で～

AIとの会話機能の活用で、これまで難しかった「話すこと」の練習がいつでもどこでも可能となり、会話の練習量の増加につながっています。

～実際のコミュニケーションにつなげる～

授業では、AIの活用などを通して身に付けた英語力を発揮する場面を設定しています。練習と実践を繰り返すことにより、生徒の英語学習への意欲や英語運用能力の向上を図っています。

英語担当教員研修

～英語授業づくりプロジェクト～

児童生徒の英語力向上に向けて英語教員の授業力を高める研修を実施しています。互いの授業実践の紹介や模擬授業による協議など、地域ごとに参加者が主体となる研修を行っています。



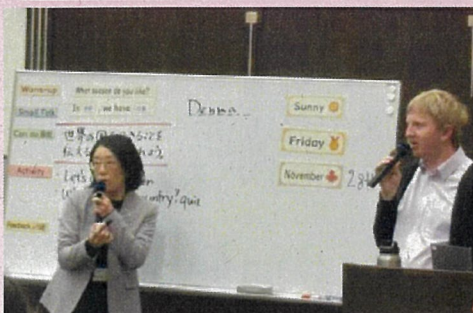
プロジェクトリーダーによる模擬授業
(玉名管内)

英語の授業におけるICT活用を協議
(芦北管内)

小中学校の教員が合同で教材作成
(菊池管内)

ALT(外国語指導助手)指導力向上研修

各市町村や県立高校のJET-ALT(外国語指導助手)を対象に、英語指導のスキルアップを図る研修を実施しています。



(小学校)

(中学校)

(高校)

令和7年度の研修テーマを「Let's Be Practical」とし、効果的なチーム・ティーチングの指導法などについてワークショップ形式で学び合いました。校種ごとに、児童生徒の発達段階に応じた教材の工夫や指導方法などについて活発な協議が行われました。



公立中学校における部活動の地域移行

熊本県教育委員会では、令和5年度から中学校部活動の地域移行を進めています(熊本市を除く)。

今回は、8月から9月に行った市町村ミーティング、新しくなったホームページについて紹介します。

市町村ミーティングを開催しました

県教育委員会では、中学校部活動の地域移行を推進するにあたり、子どもたちに一番近い存在である保護者の皆様や学校の先生方への情報発信がこれまで以上に必要と考え、8月から9月にかけて、市町村ミーティングを開催しました。

教育事務所管内ごとに、県内9か所で開催したこのミーティングには、合計243名の方が参加してくださいました。ミーティングでは、県から情報提供、全市町村の担当者の方からそれぞれの取組について説明していただきました。

県教育委員会では、これからも、地域移行についての理解を深めるための機会を提供していきたいと考えています。

～参加者の声～

- 今回の説明及び、各市町村の取組状況を聞き、今後どのように地域展開に向けて取組が行われるか楽しみである。しかし課題も多く残るため、一つずつ解決策を考えながら取り組んでいかなければならないと感じました。
- 部活動を地域移行する理由や背景の理解が関係者の間でも不十分のように思いました。まずは、地域移行がなぜ必要なのかを共有理解することが大切だと考えます。

ホームページが新しくなりました

中学校部活動地域移行に関する情報等をより見やすく、より多くの方々にお届けするために、「中学校部活動地域展開(移行)」のページをリニューアルしました。

さまざまな情報を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

※令和8年度から「地域展開」と名称変更になる予定であることから、新しいページは「中学校部活動の地域展開(移行)」としています。

「部活動 新時代へ」



たくさんの方に地域移行のことを理解していただくために、ポスターを作成しました。県内各中学校(熊本市を除く)、教育委員会、県有施設等に掲示される予定です。ポスターには、新しいホームページのQRコードも掲載しています。県内各地に現れるポスターを探して、ホームページにアクセスしてください。

この記事に関する問合せ先

運動部活動: 体育保健課(096-333-2722)

文化部活動: 義務教育課(096-333-2689)

スポーツ庁や文化庁の情報も掲載中です。国の動きもご覧いただけます。



<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list434.html>

児童生徒の豊かな心の育成に向けて ～道徳教育研究推進校 宇城市立松橋小学校 研究発表会～

本県では、児童生徒の豊かな心の育成に向けて、全教育活動を通じて行う道徳教育の推進、道徳教育の要となる道徳科の授業の充実及び「熊本之心」を活用した家庭や地域との連携に取り組んでいます。

県の道徳教育研究推進校である宇城市立松橋小学校では、令和6年度から「ウェルビーイングを目指してよりよく生きようとするゆりのきっ子の育成～自他の考えのよさに気付く道徳科の授業づくりを通して」を研究主題とし、学校全体で道徳教育を推進しています。

令和7年11月14日（金）に開催された研究発表会では、公開授業を通して研究の成果が発表されました。児童が自分自身を見つめたり、児童同士で意見交流をしたりしながら、自分や級友のよさに気付いて考えを広げたり深めたりする姿が見られました。

また、授業で学んだことを日常化するための工夫にも取り組まれており、学校内に学びの跡を実感できる掲示の工夫が見られました。



〈友達の意見のよさを取り入れ、考えを深化させる「きさりタイム」の様子〉

〈道徳科と日常をつなぐ「学びの跡の掲示」〉

この記事に関する問合せ先: 義務教育課 (096-333-2689)

こそだ でんわそうだん すこやか子育て電話相談



熊本県教育委員会HP
すこやか子育て電話相談

家庭教育に関する悩みや不安を抱える皆さんが気軽にいつでも相談できるよう、平日の夜間及び土曜日の午後に電話相談員を配置しています。

気軽に「子育ての悩み」を話してみませんか？

【電話番号】

096-383-6636

【電話相談の受付時間】

◆月曜日～金曜日 17時～21時

◆土曜日 13時～17時

※日曜・祝日・年末年始と8月13日～15日を除きます。



この記事に関する問合せ先: 社会教育課 (096-333-2697)

幼児教育と小学校以降の教育との円滑な接続に向けた熊本県の様々な取組について紹介します。



令和7年度 学びと育ちの接続セミナー

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を推進するため、幼・保等、小・中学校等、行政などの関係者による合同研修を全管内で実施しました。

研修では『架け橋期のカリキュラム』作成演習や各管内の課題解決につなげる協議等を実施しました。

「架け橋期のカリキュラム」とは、幼保小の先生が、共通の視点を持ちながら、相互の教育内容や教育方法の充実を図るため、協働して作成する架け橋期（5歳児から小学校1年生までの2年間）のカリキュラムのことです。熊本県では令和9年度までの3年間を目途にカリキュラムの作成・実施・改善等が進むように取り組んでいます。



参加者の感想より



子供たちが園で経験したことを生かして、授業に活かしていきたい。（小学校）



園後も、日々の生活で経験が活かされるようにしていきたい。（幼・保等）



円滑な接続に関する県の取組

- 「幼児期の終わりから小学校入学への円滑な接続」
- 「くまもとスタンダード」
- 「幼児教育アドバイザー派遣」

県教育委員会
HPはこちら



幼保小の架け橋研修会（認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会）

令和7年8月20日（水）、幼児教育・小学校教育に関わる284人の参加者が集い、「架け橋期」の教育の充実について学び合いました。全体会では、実践発表と文部科学省初等中等教育局の平手 咲子 幼児教育調査官による講話が行われました。また分科会では、協議主題「幼児教育と小学校教育の円滑な接続について」のもと、実践報告や活発な協議が行われました。



参加者の感想より

- ・カリキュラムを作ることが目的ではなく、考えることに意味があるという話が印象に残った。なぜ円滑な接続が必要なのかを自分なりに考え、子供たちの豊かな成長のためにカリキュラムを考えたいと思う。
- ・幼児教育と小学校教育は重なるところがたくさんあると感じた。小学校からのスタートではなく、これまでの育ちを更に伸ばしていけるよう工夫していきたい。

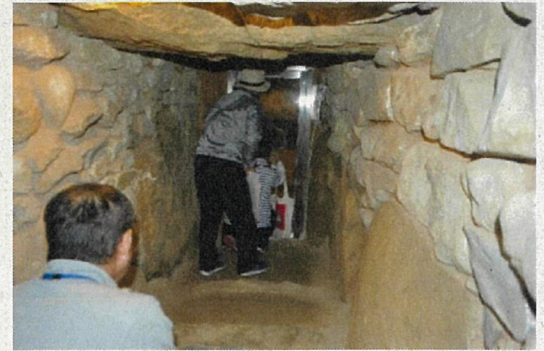
装飾文様に込められた古代からのメッセージ 「熊本県 春の装飾古墳一斉公開」を開催

熊本県立装飾古墳館では、熊本県が全国一の数を誇る「装飾古墳」について、少しでも多くの方に知っていただくため、関係自治体の協力のもと、例年、秋と春に装飾古墳の一斉公開を開催しています。

本年度も、去る11月22日(土)、23日(日)に秋の装飾古墳一斉公開を開催しました。永安寺東古墳・大坊古墳(玉名市)、塚坊主古墳(和水町)、桜ノ上横穴墓群(山鹿市)、横山古墳(山鹿市)、大村横穴群(人吉市)といった熊本県を代表する装飾古墳を公開し、県内外、延べ460名の方にご見学いただきました。

春の装飾古墳一斉公開も、令和8年3月21日(土)、22日(日)に開催します。装飾古墳は温湿度変化にとっても弱く、公開にあたっては細心の注意が必要なため、日頃から行っているモニタリングの成果により、開催時期を決定しました。普段は見ることができない装飾古墳。ぜひこの機会に、熊本県の装飾古墳の魅力をご堪能ください。

なお、公開古墳、公開日時、公開方法の詳細については、後日、熊本県立装飾古墳館ホームページにアップしますので、ご確認ください。



横山古墳見学風景



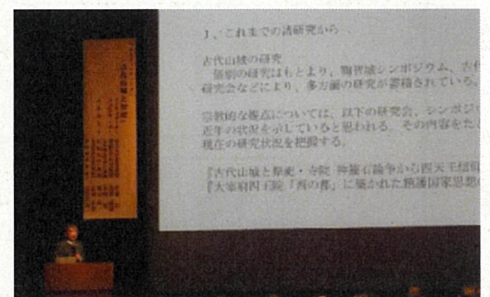
熊本県立装飾古墳館HP

<https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

この記事に関する問合せ先: 熊本県立装飾古墳館(0968-36-2151)

鞠智城シンポジウムを開催しました！

10月26日(日)、今年も九州国立博物館にて、19回目となる鞠智城シンポジウムを開催しました。今年のテーマは「古代山城と祭祀」。このテーマのもと、これまでの研究成果の報告とパネルディスカッションを行いました。



(基調講演の様子)

当日配布の資料集「古代山城と祭祀」はコチラから



鞠智城シンポジウムの動画はYouTube「歴史公園鞠智城・温故創館」チャンネルにアップロードされます。過去のシンポジウムも楽しめます。



(パネルディスカッションの様子)

この記事に関する問合せ先: 歴史公園鞠智城・温故創生館(0968-48-3178)

インターネット予約貸出サービス

自宅のパソコンやスマートフォンから熊本県立図書館のホームページで県立図書館の本を予約して、最寄りの市町村立図書館等で受取・返却ができます。

(※)利用可能な図書館等は県立図書館ホームページでご確認ください。

熊本県立図書館

Kumamoto Prefectural Library

くまもと文学・歴史館
Kumamoto Museum of Literature and History

熊本県立図書館



利用案内



本を探す



調べもの・レファレンス

本日の開館情報

2025年11月14日 金曜日

開館

第1・第2閲覧室:9時30分~19時
子ども図書室:9時30分~17時15分

Myライブラリ

ログイン/利用状況確認

Myライブラリの使い方

予約ガイド

スマホやパソコンで
Myライブラリに
「ログイン」して
読みたい本を予約♪



初めての方へ



遠方の方へ



読書バリアフリー



図書館関係者



学校関係者



郷土資料



各種申込書



レファレンス



県内の図書館



子どもの読書



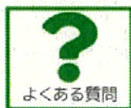
図書館について



電子申請



調べものリンク集



よくある質問

おうちで利用者登録へ！

ご利用には、熊本県立図書館の利用者登録とMyライブラリへの登録が必要です。利用者登録は、熊本県立図書館ホームページからオンラインで申込可能です。

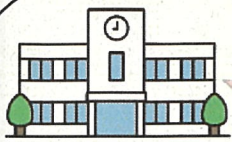
「電子申請」→「おうちで利用者登録」

<https://www2.library.pref.kumamoto.jp>



県立図書館HP

この記事に関する問合せ先:熊本県立図書館 (096-384-5000)



令和7年度

熊本県優秀教職員表彰 決定



熊本県教育委員会では、学校教育において顕著又は他の模範となる取組を行っている教職員及び組織を表彰しています。

今年度は、下記の教職員36人及び4組織の表彰を決定しました。

【教職員】マスター部門(49歳以上)

氏名	学校名	主たる功績
上野 康代	宇城市立松橋中学校	安心安全で心安らげる居場所としての保健室経営
大山 道弘	玉名市立玉南中学校	生徒指導を通じた人材育成に優れた指導力
後藤 昭代	菊陽町立菊陽中部小学校	健康教育について優れた指導力
石川 登	小国町立小国中学校	部活動(ホッケー)指導に優れ、部活動の地域展開を推進
洲上真理子	益城町立広安西小学校	特別支援教育の推進と主幹教諭として優れたリーダーシップ
笹尾 洋一	八代市立第一中学校	スーパーティーチャー(数学)としての優れた指導力
井島 京子	水俣市立袋小学校	教務主任等の経験を生かした優れた指導力と人材育成
酒井 奈子	湯前町立湯前小学校	スーパーティーチャー(特別支援教育)としての優れた指導力
山西 浩徳	天草市立本渡南小学校	優れた吹奏楽の指導と音楽の授業力
弘 孝昌	熊本県立第二高等学校	県下全域に及ぶ美術教育のトップランナー
吉迫 知也	熊本県立水俣高等学校	産学官が連携した全国初の半導体人材育成教育カリキュラムの構築
岩坂 大輔	熊本県立菊池農業高等学校	地域の課題を学習活動に結びつけた探究学習と、幅広い業種・分野との交流・連携
谷口 賢一	熊本県立熊本聾学校	聴覚障がい教育における優れた指導力
金澤 姿子	熊本県立黒石原支援学校	特別支援教育における優れた指導力

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

氏名	学校名	主たる功績
村上 歌奈子	宇城市立小川小学校	児童主体の質の高い授業実践
松下 彩子	宇土市立花園小学校	特別支援教育を中心に優れた指導力
馬場 一雅	宇土市立鶴城中学校	生徒指導、生徒会活動に優れた指導力
橋本 太郎	玉名市立大豊小学校	校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力
内田 正典	山鹿市立山鹿中学校	生徒指導及び教科体育に優れた指導力
松永 真理	合志市立南ヶ丘小学校	特別活動を生かした優れた学年・学級経営力
鳩野明日香	菊陽町立菊陽西小学校	ICT機器を効果的に活用した優れた学習指導力
白木 覚	菊池市立泗水小学校	校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力
小林 翼	大津町立護川小学校	ICT活用に優れた指導力
山部 晋一	西原村立西原中学校	学力向上に向けた優れた指導力
岩永 光央	甲佐町立龍野小学校	上益城郡内、校内の教科研究活動に貢献
紫垣 万里子	益城町立広安小学校	幼保小連携に優れた指導力
鈴木 之教	八代市立郡築小学校	生徒指導に優れた指導力
吉永 美智子	芦北町立佐敷小学校	児童の主体性を引き出す優れた指導力
池田 さやか	人吉市立第一中学校	社会科を中心に「熊本の学び」の推進と優れた指導力
洞口 典寛	天草市立亀川小学校	生徒指導を中心としたすぐれた学級経営力と学習指導力
住田 美幸	苓北町立富岡小学校	学習指導「聴き合う」「学び合う」学びの推進に優れた指導力
後藤 裕市	熊本県立宇土高等学校	探究的な学びに優れた指導力
堀内 雄大	熊本県立球磨中央高等学校	地域に根ざした商業教育を中心とした優れた指導力
田島 圭介	熊本県立熊本工業高等学校	部活動(野球)における優れた指導力
竹尾 範史	熊本県立玉名工業高等学校	工業科の専門性を活かした指導力
高下 鈴香	熊本県立熊本農業高等学校	農業科指導に優れた教育実践

【組織】

教職員組織名	功績の分野	主たる功績
芦北町立湯浦中学校教職員一同	学校防災	主体的に判断し、安全なまちづくりに貢献する防災教育の推進
球磨村立球磨清流学園教職員一同	地域関係機関連携	地域防災活動への参画による児童生徒の主体性と協働性の育成
上天草市立今津小学校教職員一同	学習指導	児童一人一人を大切に学習指導による学力向上
天草市立御所浦中学校教職員一同	その他(探究学習)	地域とICTで育む「探究する学び」

